

NCNL 図書館だより

No.21
2007.6

新入生歓迎特集「図書館へ行こう！」

読書・脳・図書館

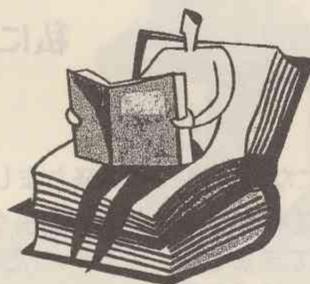
准教授 中村博生

読書とは「書を読むこと」である。「書」とは活字である。「読む」とは意味をといていくことである。つまり、読書とは「活字の意味をといていくこと」と言い換えられる。

活字の意味をといていく方法にはいくつかある。まず「速読」である。速読はすばやく読むのだが、「走り読み」といってテキスト全体にざっと目を走らせて、大まかな意味をといていく場合と、「探し読み」といって特定の情報だけにねらいをつけて、その部分の意味をすばやくといていくという場合とがある。その一方で「精読」という方法がある。「精読」とは、詳細にわたって注意深く意味をといていくのである。じっくり読むので時間がかかる。「広範読み」は、関心ごとを広い範囲にもとめて読むことで、ひとつの書で知り得たできごとを他の書に求めて、そのできごとに関してさらなる知識を得ようとするのである。読み方とは言えないが「積読」(つんどく)といって、書を読まずに大量に積み上げておくことを示す言葉もある。いざという時に、読みたい書が手元に「積読」されているとその威力を発揮する。図書館は広範読みのできる「積読の館」である。

ところで、人の脳を単純に右脳と左脳に分けると、一般的に感覚的な処理をつかさどるのが右脳で、言語の理解や理論的思考を司るのが左脳とされている。通常書を読む時は、左脳が働くと思われる。ところが、脳は右脳で活字を文字ではなく形としてとらえ、左脳で整理して意味をといて行く方法をとることができるという。この処理方法に習熟すると書の意味をとく速度がかなり増すという。「走り読み」や「探し読み」の「速読」はこの処理方法を応用しているのかも知れない。右脳をもっと活性化させ活字を形としてとらえ、左脳で整理して意味をとけば短時間に多くの

書を読むことができるようになる。この処理方法を使えば「乱読」や「多読」も目的によって、更に効果的なものとなる。



私は中学生と高校生の頃はよく書を読んだ。学校の図書室の明治、大正、昭和初期の文学作品や有名な外国文学作品はほとんど読んだ。図書室や教室の机に向かい、黙々と借りた書を読んでいた。暗かったと思う。このとき右脳と左脳を使った読み方をしていなかった。じっくり活字を味わって「精読」していた。行間も読んでいた。だから一冊の書を読むのに時間がかかった。今もそうだ。あの頃右脳と左脳を使った「速読」を習得していたら、もっと違った自分がいたのではないかと思う。現在仕事や家事におわれ、読みたい書を買ってきて「積読」状態である。いつか読もうと思っているのだがなかなか時間が無い。眼が老化の一途をたどり、活字を見ると眠くもなる。徐々に読書をする場合の肉体的なマイナス要因が増えてきた。今考えると学生の頃が一番読書をしていた。学生の頃は図書館が大好きだった。おそらく図書館にいと、興味のある書の活字の意味をさまざまな方法でとくことができたからだろう、と今になって思う。図書館にいと落ち着いたものだ。

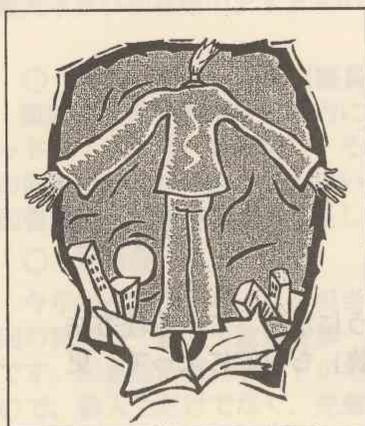
Contents・・・ページ	
読書・脳・図書館 (中村博生)・・・1	書評 (原等子) / 新聞利用調査・・・4
エッセイ・・・2	視覚覚資料活用のすすめ (水口陽子) ほか・・・5
図書館利用法・・・3	図書館人事往来 / 寄贈図書案内・・・6

新入生歓迎特集「図書館へ行こう！」

連載企画1. エッセイ

図書館の利用

看護学部3年 五十嵐 美奈子



1、2年生の頃は、図書館を、授業で調べなければならない知識、情報を調べるためや、テスト前の集中したいときにだけ利用していました。しかし、3年生に

なると、PBLや演習などで自主的に学習しなければならないので、図書館を頻繁に利用するようになりました。図書館では、インターネットなどからは得ることのできない科学的な根拠に基づいた知識や、信頼性のある情報を得ることができると思います。また、本を読むことによって、調べようと思っていたこと以外の有効な情報も得ることができます。

学ぶ立場である学生にとって、図書館とは、知識や情報を自分のものにし、自分の視野を広げていける場だと思います。

私にとっての図書館

看護学部2年 緒形 美佳

私は、看護大生になって早一年が経ちました。この一年間では、様々な教科で多くの課題やレポートなどが出されてきました。そういった時に、私が必ず利用するのが「図書館」でした。図書館では、パソコンを使って自分が探している本を簡単に見つけ出すことができます。また、信頼性もあるので、インターネットで情報を入手するよりもはるかに活用的です。昔から本を読むことがあまり好きではなかった私ですが、今は積極的に図書館に行き、本を借りて、レポートの作成に熱心に打ち込んでいます。本を読むことがあまり好きでない人や、読むことが面倒と思っている人でも、

何かをきっかけに本を好きになったりするかもしれません。これから学年を増すごとに、レポートや、専門教科の課題がたくさん増えてきます。答えが見つけられなくて困っているという時や、何について書いたら良いのか分らないという時は、図書館に少し足を運んでみてはいかがでしょうか。普段では頭に入らないことが、本を読むことですんなり頭に入ったり、初めてわかることなどもあったりして、きっといい答えが見つかるはずです。今の自分やこれから先の自分のためにも、図書館はとてもいい場所であると思います。

図書館という存在

看護学部2年 相澤 達也

1年生の皆さんが入学してから、3ヶ月ほどが経ちました。ところで皆さんは、大学の図書館を利用していますか。大学では、課題やレポート、自己学習などに多くの情報が必要になります。そんなときに、多くの文献が用意されている図書館は私たち学生にとって大変ありがたい存在となります。最近インターネットの利用が一般的な情報検索の方法になったため、図書館を利用する学生が減少しているようですが、インターネットには多くの情報があり、そこから確かな情報を探し、決定するのはなかなか困難な作業です。しか

し図書館のパソコンで検索すれば、必要な信頼できる文献を手軽に探すことができます。また図書館は、学習するのに利用できます。静かな空間は、集中して学習するのに恰好の場となります。図書館は多くの学生が利用するところです。そのためルールは必ず守らなければなりません。館内では静粛にする、借りた文献は指定された期限までに返却するなどです。これらのルールを守って、ぜひ図書館をたくさん利用していきましょう。

新入生歓迎特集「図書館へ行こう！」

利用案内に載っていない図書館利用法

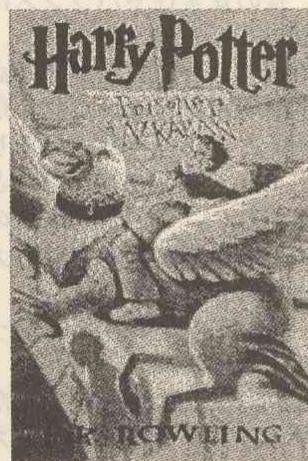
オリエンテーションで配布した利用案内は、理解しやすいように基本サービスを載せています。そのほか知っておいてほしい利用法をご説明します。

★ 図書館に新しく入った本はどこにあるの？

毎月の図書委員会で教員推薦図書と学生皆さんからのリクエストを検討しています。それらの図書はデータ入力と装備が済んだ後、入口バーを通過してすぐ目の前にある“今月の新着図書”と貼られたワゴンに並べられます。新着図書はそこで展示された後、各分類ごとに所定の位置へ配架しています。新着図書コーナーにあるものは、すぐに借りることができます。

★ 図書館利用法初級編「30分で分かる図書の探し方」開催中

毎週火曜と木曜の昼休みは、館内でOPAC検索法を中心とした簡単な講習会をしています。時間は30分です。当日の申し込みもOK！館内OPACについてはこのときしか講習会を行っていません。奮ってご参加ください。



★ 長期休み中は、いつもより長く借りられます

もうすぐ夏休みです。休みの間、まとめ読みがしたいけど、2週間じゃ読みきれない・・・と思っている方に朗報です。春・夏・冬の長期休みになると、特別に貸出期間を延長しています。

学部学生の場合、長期休みの2週間前から借りると、休み明けまで借りていくことができます（院生はこのサービスは適用されません）。特別貸出開始日は掲示またはホームページでお知らせします。普段はテキストや医学書ばかり借りている人も、物語（左図はハリーポッターの英語版の表紙）や一般雑誌をゆっくり読んでみてはいかがでしょうか。

★ 延滞には気をつけて！場合によっては弁償も・・・

こちらは長く借りるといっても、ルールを無視した借り方「延滞」の注意です。延滞すると、その資料を返すまで、新たに借りることができません。

また、掲示板に「学籍番号」「氏名」「延滞冊数」を貼り出します。それでも返却されないと、最終的には弁償することになります。最近、延滞を常習化される方や、講義で全員が必読とされた資料を延滞する方が増えています。個々に事情があるとは思いますが、ルールを守っている他の利用者が不公平になることがないように「自分が必要な資料は、みんなも必要としている」と思って利用してください。

★ ノートパソコンを貸出していますか？パソコンを持ち込めますか？

貸出はしていませんが、ノートパソコンの持ち込みは可能です。2階にある「優先席」5席の机にはコンセントがあります。そちらでご利用ください。満席の場合は、他の席で利用することもできますが、その場合は館内のコンセントは使用せず、電源は各自のバッテリーをご使用ください。

★ 傘は持ち込まないでください

飲食物が持ち込めない＝飲食禁止であることは誰もが知っていますが、傘も持ち込みができません。係員に呼び止められたことのある人も多いはず。資料だけでなく机や絨毯などの設備も汚れ、長く使用していくことができなくなります。汚れた机や椅子で学習したい人はいないはず。また、学習に不要な荷物は邪魔になります。玄関の傘立てに入れてから来館ください。



★ 不用になった雑誌を展示します

図書館で購読しているAERA、Komachi、MORE、Newtonなどの一般雑誌や、NewsweekとTimeの外国雑誌は約2年後に廃棄処分をしています。廃棄雑誌は、毎年4月頃に、図書館前廊下に展示します。必要な方はご自由にお持ちください。

連載企画 2. 書評

『変わる家族変わる食卓 真実に破壊されるマーケティング常識』

岩村暢子著 勁草書房 2003

准教授 原 等子

この本は、首都圏に在住する1960年代生まれの子どもをもつ主婦(現代主婦)を対象とした5年間にわたる食卓調査の結果から読み取られた事実を、事例をもとに整理したものである。「食DRIVE調査」と名づけられたこの調査は、協力の得られた全111世帯の2,331件の食卓日記と4,000枚以上の食卓写真から分析されている。また、この本では「食卓」を調査しながら、家族や家庭の問題などに言及している部分が少なくない。現代の家族がもつ様々な問題が、食卓からも垣間見ることができる。

本書の主題は、現代主婦の食の実情である。主婦自身の食に対する考え方に、「食への軽視」が表現され、これが現実かと驚く記述もあるが、この調査が子どもをもつ主婦を対象にしていることを思い出し、いっそう恐怖を覚える。子どもの食に関してまとめられた章に到っては、今後の日本の未来を憂う気分になる。

子どもが食べないからとあえて野菜を出さない主婦、食べないよりはましとお菓子を食事に換える主婦など、一汁三菜の食のかたちはすでにほとんど崩れている。乳幼児をカラオケに連れて行き「反応を見て楽しむ」母親、子どもが騒いでもうるさくいわないファミレスやファーストフードに集う主婦、子どもにお母さんだけずるいといわ

れながら前日の残りのケーキを朝食にする母親など、自分のすきなものを我慢しきれない子ども化する親たち。子どもを一人前扱いして「好きなものを選ばせる」ビュッフェ食は、「食べてもらえ」ればよく、栄養のバランスは二の次である。「子どもがお父さんだけずるいというから、晩酌にはシャンメリーを欠かさない」という家族もあれば、父親に晩酌をさせないという家もある。そして、コンビニでめいめい好きなものを買ってきて食べる「ばらばら食」。食の安全性やバランスはほとんど考えられていない。

私も、対象者とは同年代で、身に覚えがある点が沢山あり、自身の食生活や嗜好に改めて強い危機感を覚えた。ここで紹介される様々な食のありようについて、読む人によっては問題点がぴんと来ない場合もあるかもしれない。これは、現代の主婦だけの問題ではなく、その前後の世代にも大きく影響を与えている日本の食の真実である。

個を大切にするとはい？彼らに健康教育を行っていく私たちには、何ができるのか？

私たち看護職が守る健康の基盤となる大切な「食」について、まず自分の回りの食生活から考えるために1年生のうちから読んでもらいたい良書である。

○請求番号 383.81-194 (棚番号 21 左側(2階))

新聞利用調査

2006年12月～2007年1月の2ヶ月間、新聞利用調査を行いました。結果は下表のとおりです。

調査対象紙：図書館で購読している6紙(朝日新聞、毎日新聞、読売新聞、新潟日報、上越タイムス、

DAILY YOMIURI)

(1) 調査期間中の閲覧回数(開館日数：42日)

新聞名	朝日	毎日	読売	日報	上越タイムス	デイリーヨミウリ
閲覧回数	149	15	22	399	119	13
1日平均	3.5	0.4	0.5	9.5	2.8	0.3

地方紙はよく閲覧されているが、全国紙は朝日新聞以外はあまり閲覧されていない。上位3紙が毎日最低一人は閲覧しているのに対し、他紙はほとんど利用されていない。ただし、朝日新聞、新潟日報、上越タイムス、デイリーヨミウリは図書館入口前の廊下であり、他紙は館内にあるため、利用しやすいという配架場所の影響もあると思われる。

(2) アンケート調査(回答数：45名)

① 図書館の新聞を利用したことがある：33名、ない：12名

② 新聞を利用しないのはなぜですか(複数回答あり)

ア. 図書館へ行って読んでいない時間がない・・・5名

イ. 自宅で新聞を取っているから・・・7名

(つづく)



(つづき)

- ウ. 新聞を読む必要性を感じない・・・4名
- エ. その他・・・2名 (内、1名は「設置場所」と記入)

(3) 新聞に関する意見

- ・ 1台でいいから、新聞閲覧机が館内にほしい。
- ・ 一人暮らしで新聞を取っていないため、助かっている。
- ・ テレビのニュースだけでは得られない情報もあるので、これからも必要 (特に朝日新聞)。

～ 調査にご協力ありがとうございました ～

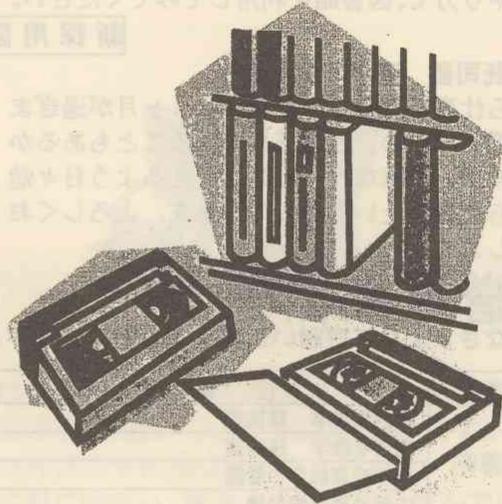
視聴覚資料活用のすすめ

准教授 水口陽子

新入生の皆さんは入学されてから早くも3ヶ月がたとうとしていますね。学年が進んで先輩になられた皆さんもいかがお過ごしですか？図書館の書籍の他に、ビデオやCD-ROMなどの視聴覚資料も利用していますか？例えば、「こうすれば食べられる・嚥下困難患者への新しいアプローチ」⁽¹⁾のビデオシリーズは、嚥下の仕組みや援助のポイントが映像化されていて、わかりやすいですよ。また、基礎看護技術に関する教材では、**教員が看護者役・患者役・カメラマンとなり、手作りで作成したビデオ**⁽²⁾もあります。この他にもたくさんの資料があり、図書館の中ではいつでも見ることができますので、講義の復習や実習前の準備などに、利用してみると役に立つと思います。

注：(1)『こうすれば食べられる・嚥下困難患者への新しいアプローチ』は全3巻。第1巻『嚥下のメカニズムと嚥下障害』、第2巻『嚥下障害の観察と訓練法』、第3巻『高齢者へのアプローチ』

(2)全24巻。各巻タイトルは『ベッドメイキング』『寝衣のたたみ方と交換』『シーツの交換』『患者の移送、誘導』『体位変換』『全身清拭』『モーニングケア・イブニングケア』『食事介助』『洗髪』『包帯法』『浣腸法』『臥床患者の便器・尿器の当て方』『手指消毒』『皮下注射』『経口予薬』『滅菌物の取り扱い方』『口腔(鼻腔)吸引法』『バイタルサインの測定』『導尿』『採血』『温あん法・冷あん法』『隔離技術』『点滴静脈内注射』『酸素吸入ネブライザー』



シラバス図書について～専用コーナーできました～

シラバスに掲載されているテキストおよび参考資料は全て図書館で揃えています。

今年度からは専用コーナーが出来ました。全学年分をまとめて専用ワゴンに載せて、1階の書架番号7と8の横に設置しています。

シラバス掲載の図書は、講義を受講するために必読の書！受講学生の多い科目や複数の科目で利用される図書は、複本で揃えています。図書館での本の調べ方が分からない人も、大学生になって読むべき資料が分からない人もまずはシラバスコーナー(ワゴン)をご覧ください。いかがでしょうか。

< 教員の皆様へ >

上記のとおりシラバス掲載図書は原則図書館で備えています。講義関連図書はできるだけシラバスへ掲載していただきますようお願いいたします。掲載図書の利用が集中する場合は「貸出延長停止」等の措置も行えますのでご相談ください。

寄贈雑誌報告(2006/11～2007/05)

新 規 受 入	紀 要	学 術 雑 誌
	エム・オー・エー健康科学センター研究報告集	日本ルーラルナーシング学会誌
	新潟県厚生連医誌	

図書館人事往来

退職者

○ 嘱託司書 飯塚 浩子

5年間図書館勤務をさせて頂きました。図書館での勤務は初めてであったため、学ぶべきことばかりでしたが、職員の方々のご指導を頂き、無事勤務することができました。ありがとうございました。

看護学生の皆さんや看護に携わる方々に幾らかでもお役に立てたならば嬉しく思います。末筆ながら、看護大学及び図書館のますますのご発展を心よりお祈りしております。

新・図書委員

○ 館長 関谷 伸一(委員長)

紙媒体と電子媒体を有機的に活用できるハイブリッドライブラリーを目指し、そして学習の場としての図書館作りができればと思います。今年度から、図書館長と図書委員長を兼任します。

○ 准教授 水口 陽子

今年から図書館だよりを担当します水口です。今回の特集は“新入生歓迎特集-図書館に行こう-”です。図書館活用のヒントがたくさん載っていますので、新入生だけでなく、先輩の皆さんもぜひ自分にあったやり方で、図書館を利用してみてください。

○ 准教授 中村 博生

図書館に足を運んだ回数だけあなたはアカデミックになれます。本を読まなくとも借りなくともアカデミックになれます。図書館とはそういうところです。

○ 助教 長瀬 亜岐

多くの書物に触れて、グローバルな視野で物事を考えることのできるように看護を学んでほしいなと願います。最新の知識が得られるように雑誌の検討をしていきたいと思います。

新採用図書館職員

○ 嘱託司書 清水 かすみ

4月から仕事をさせて頂き、3ヶ月が過ぎました。不慣れなため、ご迷惑をかけることもあるかと思いますが、的確なサービスを行えるよう日々勉強しながら頑張りたいと思っています。よろしくお願いたします。

○ 開館延長嘱託員 平賀 道子

学生さんの勉学に勤しむ姿に大変感動しています。これからも利用する皆様にお役に立てるように早く仕事を覚えたいと思っています。よろしくお願いたします。

寄贈図書案内

下記のみなさまよりご寄贈いただきました。ありがとうございました。(2006/11/1~2007/5/31 受入分)

Thankyou

寄贈者	書名	著者名	出版年	請求記号	
中島 紀恵子	基礎看護学 総論編	藤原奈佳子[ほか]著	2007	N084-K159-1	
	基礎看護学 技術編	藤原奈佳子[ほか]著	2007	N084-K159-2	
	認知症高齢者の看護	中島紀恵子編著	2007	N680-N34	
	中越地震復興論	新潟日報社編	2006	369.31-N72	
	地域まるごと子育て支援	武石村子育て支援事業推進委員会編	2006	369.4-Ta65	
本学 教員 関谷 伸一	物語大学医学部	保阪正康著	2006	490.7-H91	
	大学授業の生態誌	島田博司著	2001	377.15-Sh36	
	大学授業を活性化する方法	杉江修治[ほか]編著	2004	377.15-Su33	
	さよなら古い講義	田中一著	1999	377.15-Ta84	
	九州大学 COE 大学改革	丸山正明著	2006	377.21-Ma59	
	都立大学に何が起きたのか	茂木俊彦[著]	2005	377.21-Mo16	
北川 公子	地域看護学 I	福島道子編	2007	N084-F84-1	
	地域看護学 II	福島道子編	2007	N084-F84-2	
	利用者と共有できる介護報酬ナビ	日本医師会総合政策研究機構編著	2006	N262-A12-06	
	外来・在宅診療報酬クイックマスター		2006	N262-G15-06	
	2006年診療報酬改定・介護報酬改定で医療・介護事業経営はこう変わる	中林梓編著 富田敏夫編著	2006	N262-N31	
飯吉 令枝	ケアプランに活かす「ICF(国際生活機能分類)の視点」	諏訪さゆり, 大瀧清著作	2005	N640-Su87	
	系統別看護師国家試験問題解答と解説 2006年版	『系統看護学講座』編集室編	2005	N039.1-Ke28-06	
	看護の心理学入門	岡堂哲雄編	1997	N140-038-1	
	患者の心理とケアの指針	岡堂哲雄編	1997	N140-038-2	
内藤 知佐子	がん患者の呼吸困難マネジメント	田中桂子監修	2004	N571-G19	
	マンガ大人も知らないからだの本	武藤芳照編	2005	N400.3-To46	
学外	阿部 恵子	動き出す山古志の衆	里村洋子著	2006	369.31-Sa87
	市川 彰	みんなの命を救う 災害と情報アクセシビリティ	山田肇編著	2006	369.3-Y19
	中川 泉	新潟県中越地震 小千谷総合病院看護部活動記録		2007	N880-N72
	若林 広行	臨床薬物治療学	医療薬学研究協議会編	2000	492.3-I67-00

図書館だより 第21号 (2007年6月28日発行)

編集: 新潟県立看護大学図書委員会

〒943-0147 上越市新南町240番地

e-mail: tosyono@niigata-cn.ac.jp

発行: 新潟県立看護大学図書館

TEL: 025-526-1169

URL: http://lib.niigata-cn.ac.jp